



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

「大阪大学での産学官連携の取組状況」

2017年3月14日

大阪大学 産学連携本部

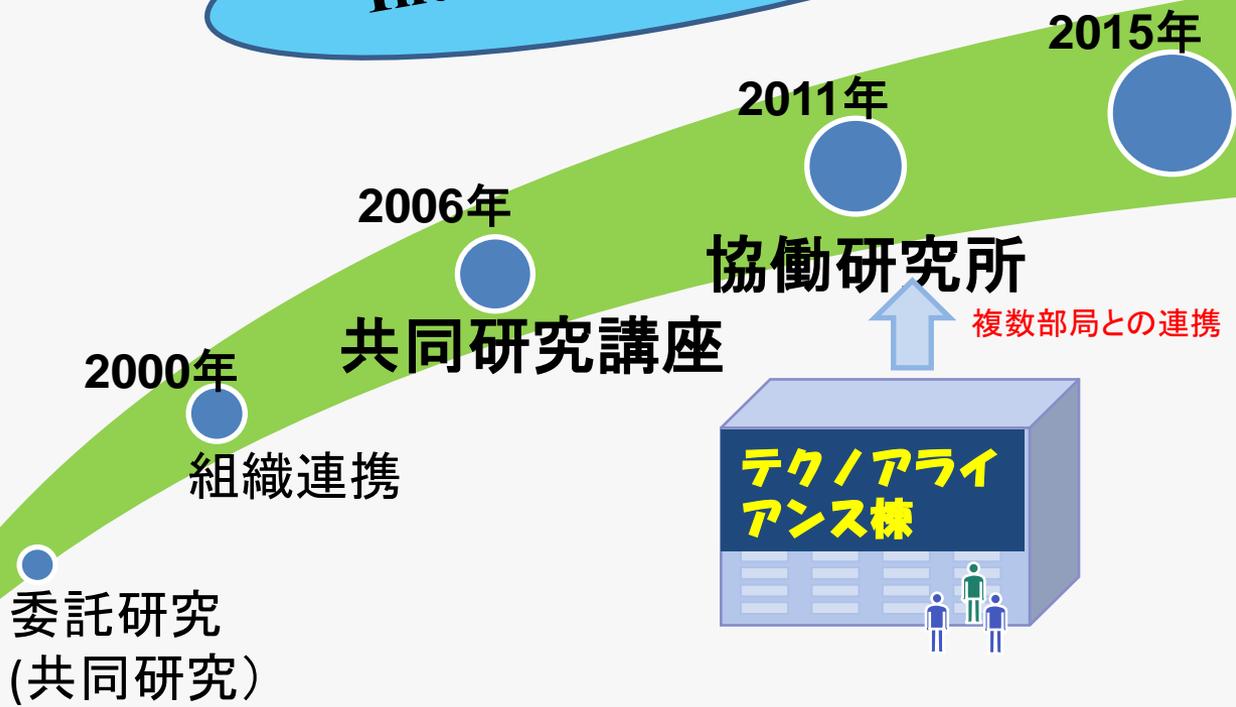
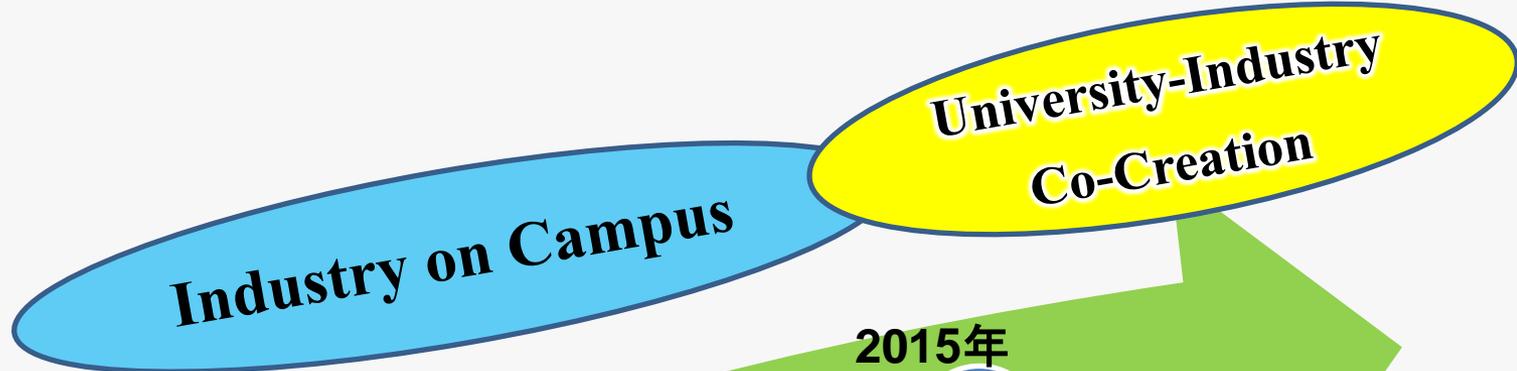
副本部長

北岡 康夫

これまでの産学連携の取組み



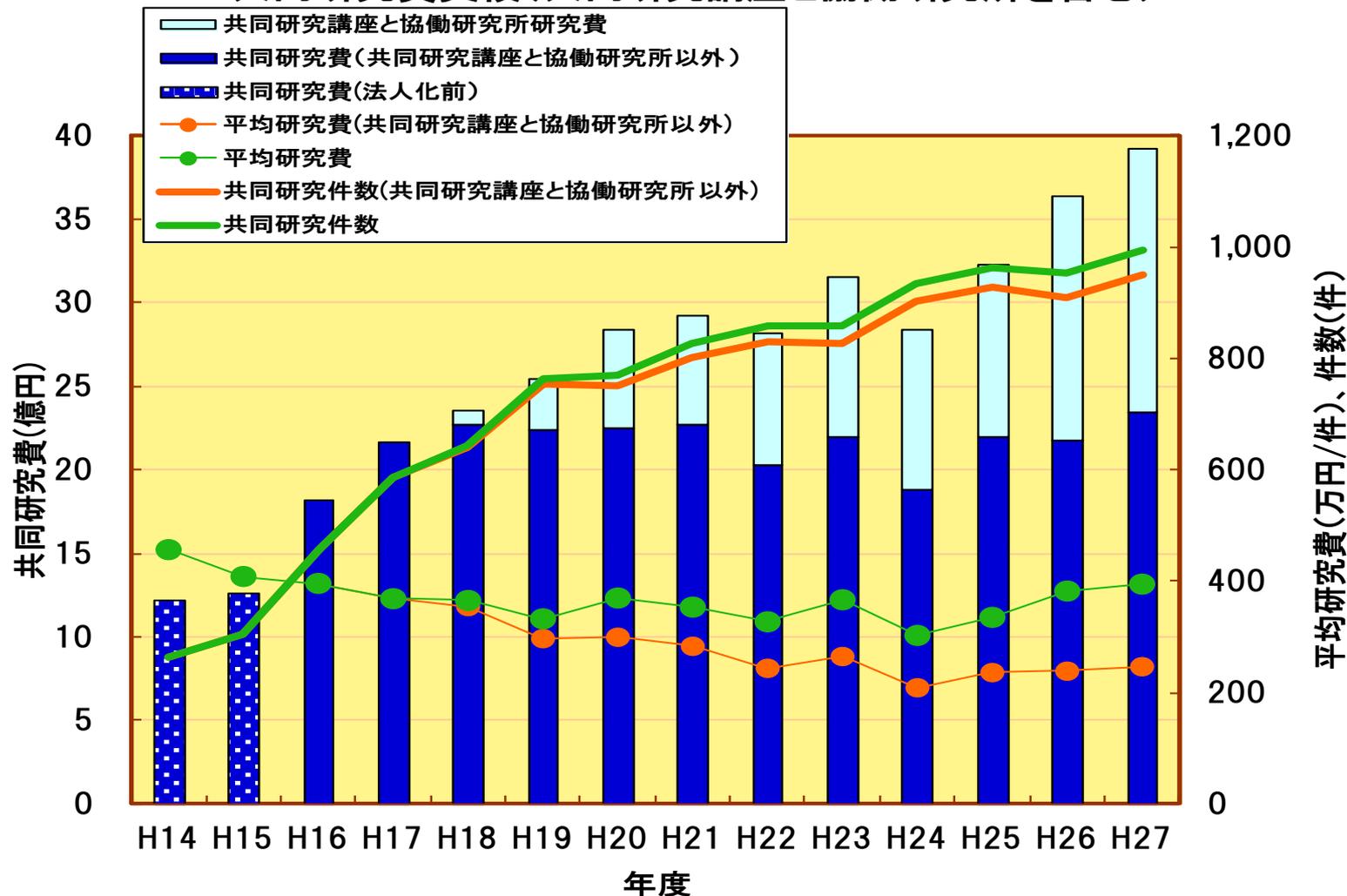
産学共創に向けた取組み



共同研究費実績

共同研究費は10年で2倍、大型研究 (>1000万円) の増加

共同研究費実績(共同研究講座と協働研究所を含む)



レベルの高い「人・資金・研究課題」を誘致し

“本気”の共同研究をオン・キャンパスで実現



社会のニーズに応える課題育成・人材育成の苗床

産学共創に向けた取り組み

基礎研究段階からのオープンイノベーション

「Co-creation」する大学へ変革

産学連携の
第3ステージ

産学
共創

アプローチ

1

基礎研究段階からの包括的な産学連携

IFReC

アプローチ

2

産学共創によるイノベーション人材育成

アプローチ

3

産学共創による若手研究者の雇用育成

高等共創
研究院

アプローチ

4

産学循環機能による男女協働の推進

第2ステージ

大学発シーズベースの共同研究の組織的展開

日本初

- 共同研究講座・部門 開設 ———— 実績 39
- 協働研究所 設置 ————— 実績 10
- (● 寄附講座 開設 ————— 実績 48)

平成28年10月1日現在

第1ステージ

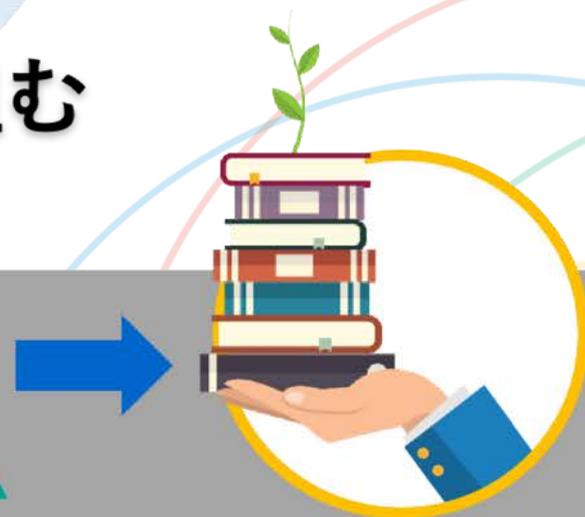
技術相談・個別の共同研究



新たな共同研究
への展開



研究成果の開示



知的財産の活用



企業



企業



企業



企業

第三の包括連携



WPI Osaka University
iFReC
免疫学フロンティア研究センター

包括連携による運営基盤支援

10億円 * 10年



中外製薬



Otsuka
大塚製薬

大塚製薬

運営費交付金
の漸減

若手教員の
パーマネント
ポストの減

集中して研究に
打ち込む時間の
減少

研究力
低下

深刻な
問題

問題打開の
ために

高等共創研究院



特命教員の雇用

- 国際的に卓越した若手研究者を育成
- 世界最高水準の学術研究を推進
- 高度な研究マネジメントと高い倫理観

卓越した
若手研究者に
夢を!!

寄附金等による支援

企業
各種団体

一般財団法人 阪大微生物病研究会のご支援により、
第一段階がすでにスタート

高等共創研究院における人材育成

高等共創研究院特命教員[※]として採用 [※]呼称として使用

目的: 先端的な研究課題を推進し、(1)(2)を達成

(1) 世界最先端の研究を推進

担当講座(サポート部局)と連携(メンター機能) → 研究場所、実験機器のサポート

高等共創研究院内外での
異分野若手研究交流

共創研究での
ブレイクスルー

世界トップクラス
研究達成

(2) 共同研究推進のフラッグシップとなる研究を推進

産学連携研究の推進 → 自立・独立を目指す

若手の育成
研究交流 (10年)

連携研究の推進

・共同研究講座
・寄附講座
の設立

(2)

自立

(2)

独立

(1)

世界トップクラス
研究成果

大型研究費や講座運営費の獲得

Industry on Campus
のさらなる促進

研究資金支援

省庁等への
申請支援

企業への
推薦

(共同提案)

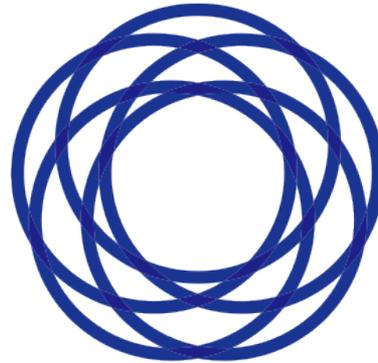
メンター及びサポート部局

さいごに

▶ Open Education



▶ Open Research



▶ Open Innovation

OPEN 2021

▶ Open Community

▶ Open Governance

大阪大学は「産学連携から産学共創へ」をコンセプトに掲げ、社会のニーズに基づく基礎研究の課題を発掘し、新たな社会的価値の創出につながる「オープンイノベーション」に挑戦します。